

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	現代社会学Ⅰ	
科目基礎情報							
科目番号	04110			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建築学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書は特に指定せず、講義はプリントに沿っておこなう。／新詳高等地図、新編地理資料を必ず持参する事。（※いずれも1年次地理A・Bにて使用したもの）						
担当教員	高橋 清吾						
到達目標							
(ア)東南アジア諸国の自然環境と農業について理解できる。 (イ)東南アジアの歴史・民族・文化について理解できる。 (ウ)ASEANの結成と工業の発展、および諸問題について理解できる。 (エ)南アジアの自然と農業について理解できる。 (オ)南アジアの諸宗教の分布について理解できる。 (カ)インドのIT産業と工業化について理解できる。 (キ)西アジアの自然と人々の暮らしについて理解できる。 (ク)西アジアの民族・宗教について理解できる。 (ケ)西アジアの資源・産業について理解できる。							
ルーブリック							
	到達レベルの目安（優）			到達レベルの目安（良）		到達レベルの目安（不可）	
各地域の政治・経済の構造を理解することができる。	各地域の政治・経済について歴史的経緯を踏まえ、理解することができる。			各地域の政治・経済について把握することができる。		各地域の政治・経済について把握することができない。	
民族・文化・生活の多様性を理解することができる。	民族間の差異を踏まえて、その関係構築や共生の在り方を理解することができる。			様々な文化、価値の存在を把握することができる。		様々な文化、価値の存在を把握することができない。	
各地域と日本との政治的・経済的関係について理解することができる。	各地域と日本との関係について理解することができる。			各地域と日本との関係について把握することができる。		各地域と日本との関係について把握することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 E1 日本や世界の文化や歴史を、地球的な視点から多面的に認識し、建築技術が社会に与える影響を理解する能力を修得する。 JABEE a 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養 本校教育目標 ① ものづくり能力							
教育方法等							
概要	本講義では近年発展著しい東南アジア・南アジア・西アジアに焦点を当て、それぞれの地域における政治・経済・文化だけではなく、各地域の人々の生活に影響を与える自然環境も取り上げる。これらの地域の中には、日本との関係が深い国もあり、今後各地域との円滑な政治・経済的関係を構築していく上で、実情を理解しておくことに意義があると考え。受講生の積極的な取り組みに期待したい。						
授業の進め方・方法	講義、ディスカッション、発表等。						
注意点	授業内容に該当する項目について、科目担当教員の薦める文献等で予め調べてくること。また、継続的に授業内容の復習を行うこと。						
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	東南アジアの自然			東南アジアの自然環境について説明できる。	
		2週	東南アジアの農業			東南アジアの農業について理解できる。	
		3週	東南アジアの歴史			東南アジアの近代以降の歩みを振り返るとともに、植民地支配の影響についても理解できる。	
		4週	東南アジアの民族・文化			多様な東南アジアの民族と文化について、大陸部と島嶼部に分けて説明することができる。	
		5週	ASEANの結成と工業			ASEANの結成から現在に至るまでの過程と、歴史的変遷および、課題について理解できる。	
		6週	ASEANの工業			東南アジアにおける工業の発展、世界各国との貿易の状況について理解することができる。	
		7週	南アジアの自然環境			南アジアの自然環境について理解することができる。	
		8週	南アジアの農業			南アジアの農業について理解できる。	
	2ndQ	9週	南アジアの宗教			南アジアの宗教について把握するだけでなく、人々の暮らしには宗教が根付いていることを理解できる。	
		10週	インドの工業			インドにおける工業の発展を理解するとともに、IT産業の発達についても説明することができる。	
		11週	西アジアの自然環境			西アジアの自然環境について説明できる。	
		12週	西アジアの人々の暮らし			西アジアの人々の暮らしについて理解することができる。	
		13週	西アジアの宗教			西アジアの宗教について把握することができる。	
		14週	西アジアの資源・産業			西アジアの資源・産業について理解できる。	
		15週	まとめ			これまでの内容を整理し、理解を促進する。	
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	社会	現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3					
評価割合						
			定期試験	課題	合計	
総合評価割合			70	30	100	
基礎的能力			70	30	100	